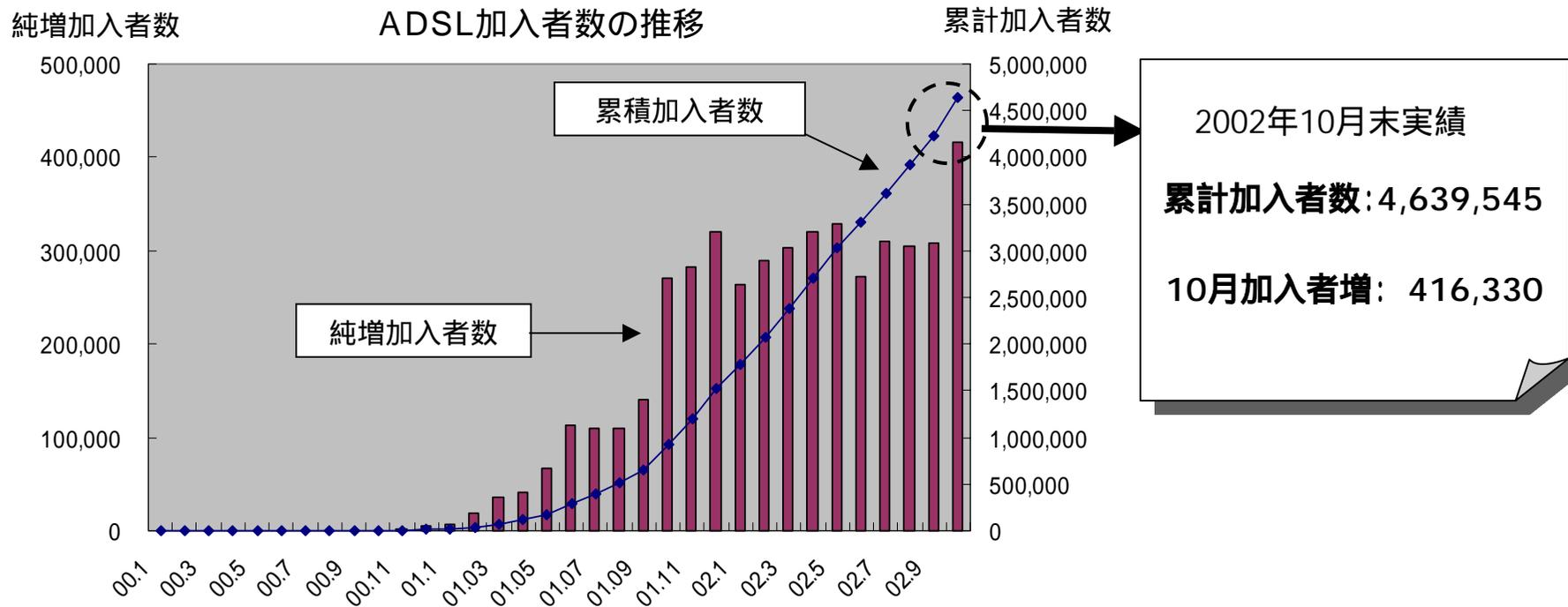


ADSL市場の競争状況について

平成14年12月5日

イー・アクセス株式会社

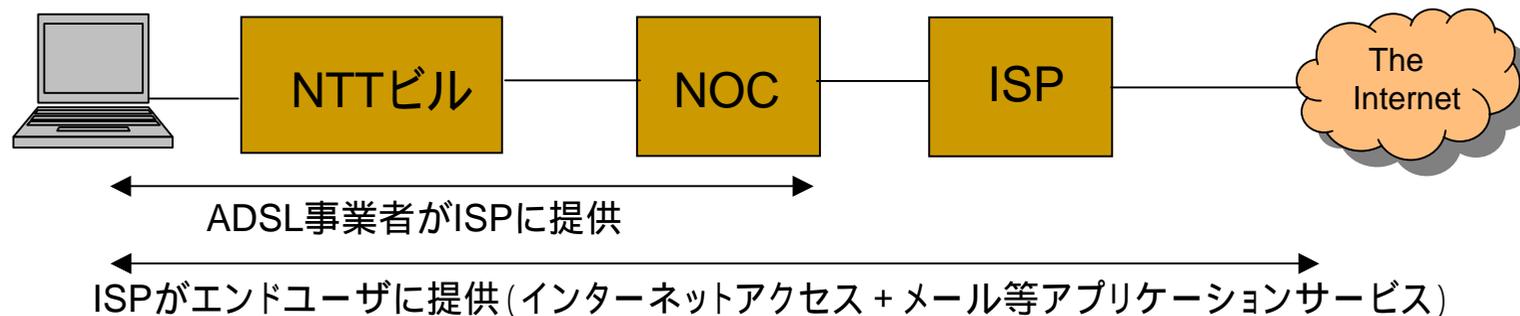
ADSL市場の現状



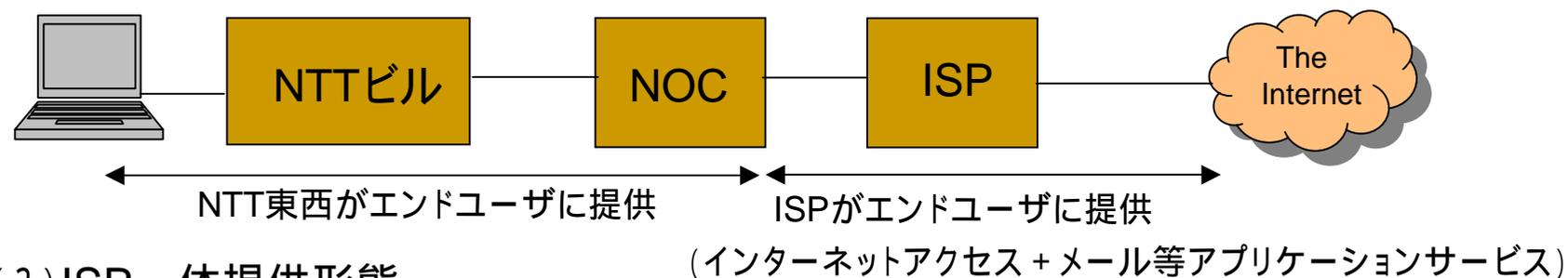
- 本年はじめから30万/月前後の伸び
- 価格だけでなく、高速化やエリア拡大での競争も激化

DSLサービス形態の多様性

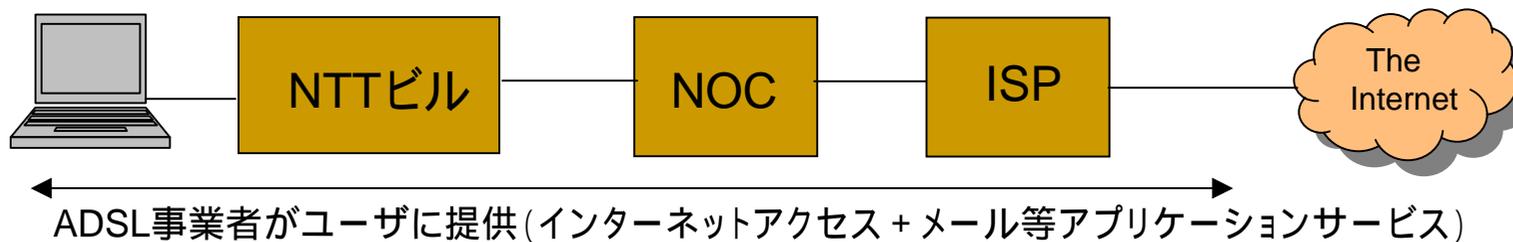
(1) ホールセール形態



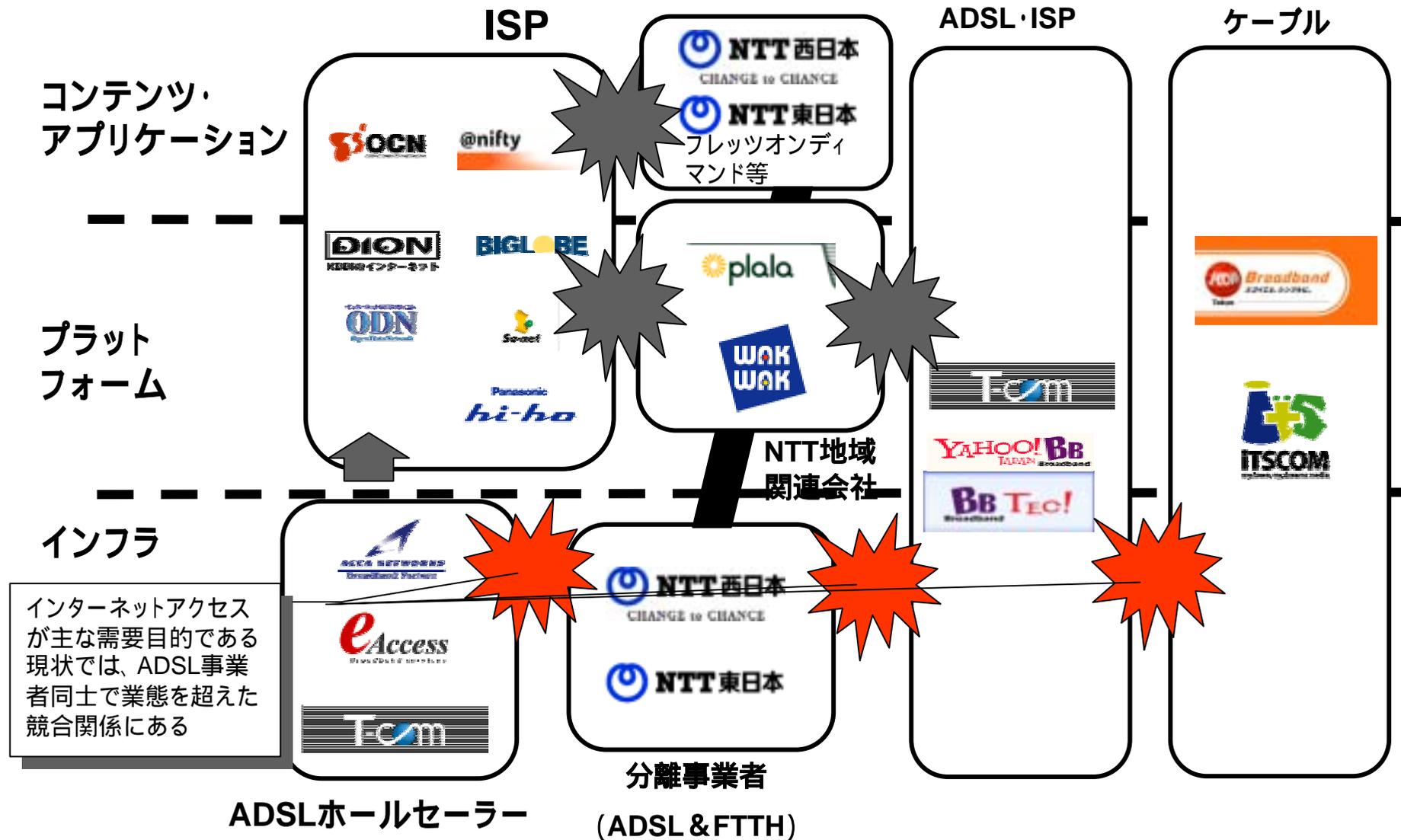
(2) 分離販売形態



(3) ISP一体提供形態



インターネットアクセス市場の競争状況

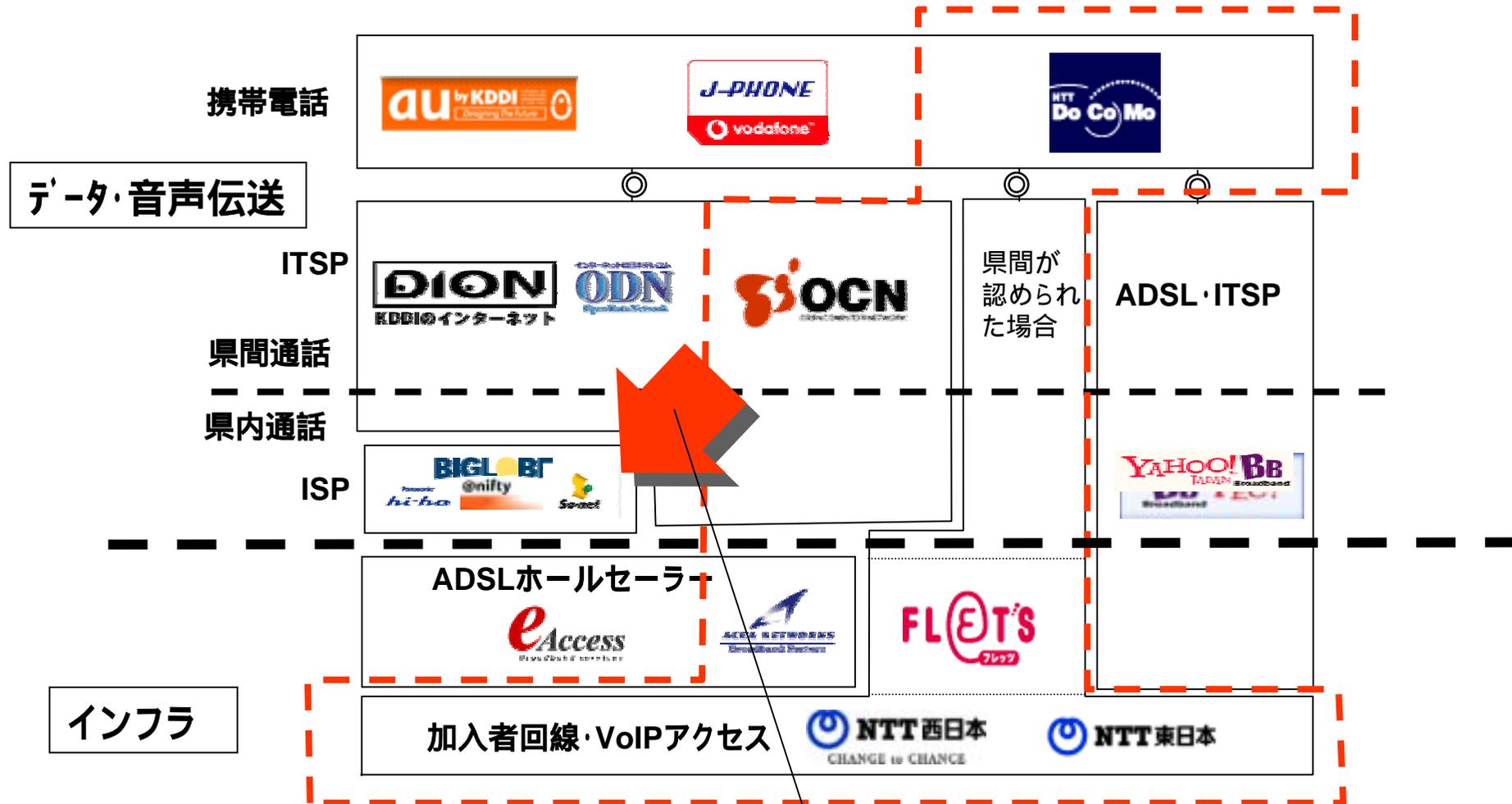


ADSL市場の競争状況

- ADSLを含むインターネットアクセス市場は構造が複雑であるため、競合関係が見えにくい。
- ADSLサービスに加入する消費者の、現在の主たる需要目的はインターネットアクセスと考えられ、提供形態の差異にかかわらず、ホールセラーより提供を受けたISPのADSLサービス、分離型ADSLサービス、ISP一体型のADSLサービスの間には強い代替性を有すると考えられる。FTTHやケーブルインターネットは地域限定があったり料金体系が異なっており、ADSLとの代替性はそれほど強くないと考えられ、したがって現状では分析すべき市場としてADSL市場を特定することは一定の合理性がある。またレバレッジを考慮すべき関連市場はISP市場、コンテンツ/アプリケーション市場が上げられる。いずれも現段階では、他ADSL事業者がすべてNTT東西のボトルネック設備に依存している事実以外では、ADSL市場及び隣接市場の競争は現在はずすんでいると評価できると考える。
- しかしながら、需要目的が変化すれば競合関係及びレバレッジを考慮すべき市場も変化する。特にこれから急速に普及が見込まれるVoIP市場では、電話市場での支配力の影響について十分に配慮をする必要があると考える。

VoIP市場での競争状況

NTTグループ



垂直統合による支配力行使の懸念